※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　工業科（建築設備系　建築システム専科）

教科	工業	科目	建築システム製図	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	建築設計製図(実教出版)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生で学んだ線の描き方や作図方法を基に、JIS・JAS に基づく製図法の基本、建築分野における基礎的知識・技術を習得します。各種図面を正しく読みとる能力をつけ、図面を構想・作成するための知識・技術を習得しましょう。特に、木造の各種構造を知り、用途に応じた設計製図法を理解しましょう。課題に対して、真摯に取り組み、期日を守るように取り組んでください。

2　学習の到達目標

製図の基礎的知識に加え、「建築計画」「建築構造」「建築施工」「建築法規」などと関連させることにより総合的な設計製図作成技術を習得することを目標とします。

木構造についての基礎知識を理解し、それに応じた設計製図法の技術を習得し、自ら判断し、図面を表現する力を身に着け、創意工夫して学習する力を身に着けているか目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技能を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地から的確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割の理解および諸問題の解決をめざして、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	製図の基本	製図総則、用語、表現方法 ドラフターの取り扱い方法 実線の種別とその表現方法 建築設計製図の表現方法 軒先マワリ詳細図 土台マワリ詳細図	a:製図道具の種類や基本的な使い方を理解し、用具の特質を生かした正しい使い方ができる実践的な知識・技能を身につけている。 b:JIS の「製図総則」、「建築製図通則」などの製図規約の重要性を思考・判断し、共通理解のために誤りのない図面をかくことに意欲的に取り組むとともに、実践的な表現力を身につけている。 c: 製図の基本である線と文字の表し方やかき方について興味・関心をもち、正確で美しい線や文字を表すことで意欲的に取り組む態度を身につけている。	質問・観察 作品提出	作品提出	質問・観察 作品提出 振返りシート
2学期	木構造の設計製図	建築設計製図の表現方法 木造平屋建専用住宅の各種図面 配置図 平面詳細図 立面図・断面図 各伏図	a:建築設計の進め方の順序を理解し、その理解に意欲的に取り組む知識・技能を身につけている。 b:図面のもつ役割・分類・種類について常に思考・判断し、その目的と内容の理解に意欲的に取り組み、行動力を身につけている。 c:図面内容を正確に、無駄を省いた技法で要領よくまとめることで、寸法や尺度による表示内容の精粗や、それぞれの図面のかき方の手順に興味・関心をもち、正しい線の使い方によりきれいに描き上げることに意欲的に取り組む態度が身についている。	質問・観察 作品提出	作品提出	質問・観察 作品提出 振返りシート
3学期	木構造の設計製図	建築設計製図の表現方法 木造平屋建専用住宅の各種図面 断面詳細図 軸組図 展開図	a:建築設計の進め方の順序を理解し、その理解に意欲的に取り組む知識・技能を身につけている。 b:図面のもつ役割・分類・種類について常に思考・判断し、その目的と内容の理解に意欲的に取り組み、行動力を身につけている。 c:図面内容を正確に、無駄を省いた技法で要領よくまとめることで、寸法や尺度による表示内容の精粗や、それぞれの図面のかき方の手順に興味・関心をもち、正しい線の使い方によりきれいに描き上げることに意欲的に取り組む態度が身についている。	質問・観察 作品提出	作品提出	質問・観察 作品提出 振返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技術　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度